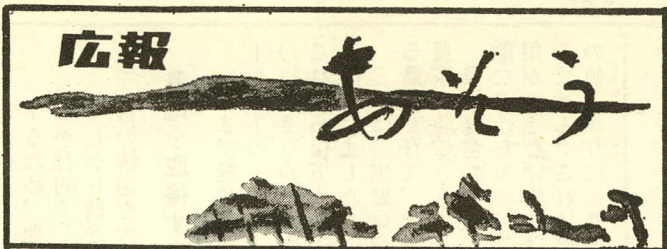
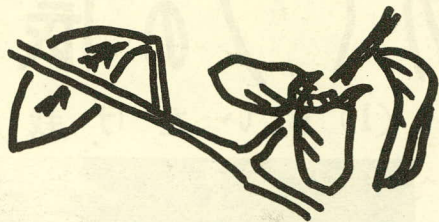


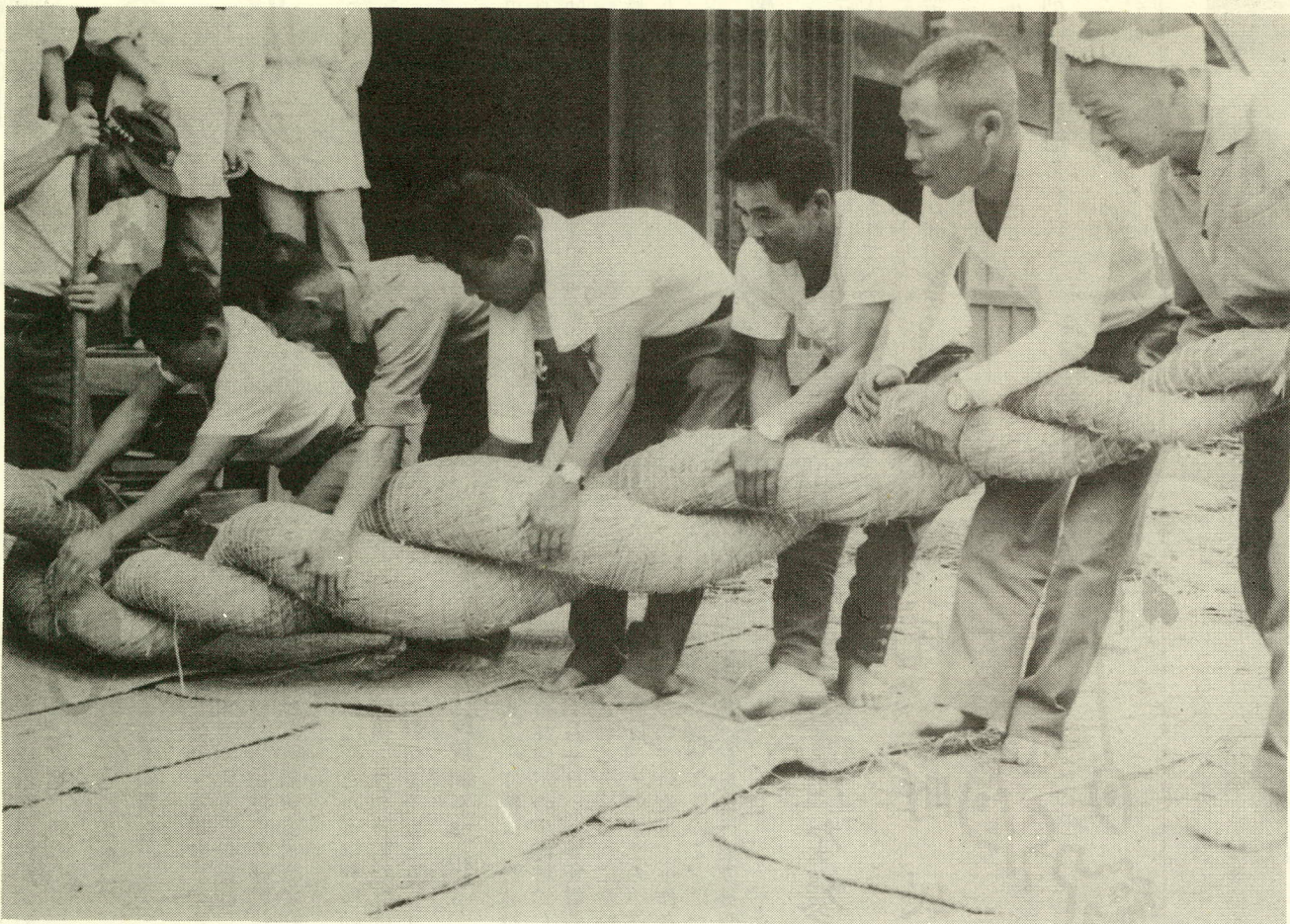
男	女	計	世帯数
8,696人	9,142人	17,838人	3,796戸



発行所 麻生町1561-9 麻生町役場
発行所 電話(代)420番 小沼幸蔵
印刷所 麻生印刷

10月のメモ

- 5~9日 矢幡舗装
- 7日 交通安全県民会議
- 6~15日 秋の交通安全運動
- 9日 巡回スポーツ教室
- 12~13日 行政相談
- 15日 鹿行地区PTA研修会
- 19~23日 酪農組合研究会
- 21日 根小屋舗装
- 22日 町営住宅入居者募集
- 22日 民生委員会議
- 22日 病害虫防除協議会



しめ縄なわで
雨ごい

大しめ縄をつくる

富田上宿部落の人たち

しめ縄を奉納して雨ごいを行ない、五穀豊じようを祈る祭典が十月九日、大字富田羽黒神社でおこなわれました。

このおこりは、古老の言い伝えによると約二百年前に日照りが続き、池の水はなくなり、田に引く水で争いがおこりました。

これを見たお坊さんは、竹の先に竜の形をした物を結びつけ、霞ヶ浦で水あびをさせ、年寄は、お経を読んで雨ごいをしたら雨が降って田に水を引くことができたそうです。

それから竜にたとえしめ縄を奉納するようにになりました。

このしめ縄は、長さ二間半(四メートル五十)重さが百貫(三百七十キロ)あり、部落の人が十月一日につくって羽黒神社の鳥居に奉納します。

鳥居につけられたしめ縄は、竜が天上するように勢いよく、これが早く落ちた時は豊作、遅く落ちた時は不作というマジナイにもなっています。

町の最長寿者は
横山きくさん



「町長と談笑する横山さん」

麻生町で最長寿者は、明治七年五月二日生まれで満九十六才の横山きくさん(青沼)です。

きくさんは、膚のつやもよく元気で、とても九十六才には見えません。七月におこなわれた敬老会では自慢のものを披露していました。

好きな食べ物は特になく、ところが食べず嫌い、酒、たばこはたしなみません。分家したむすこさんや、嫁にいつた娘さんの所を気ままにたずね、毎日の生活も幸せそのものです。

このようにきくさんは、長生きして幸せな毎日過ごしています。が、お年寄で不幸な生活をしている人も少なくありません。

麻生町で満六十五才以上の老人は約千人いますが、一人で生活している人四十人、このうち半数は、生活保護を受けています。

おじいさん、おばあさん全員が一日も早く幸せな生活をおくれるようにしたいものです。

90才以上の人

(一)内部と年齢

横山	きく	(青沼九六)
島田	サク	(新原九五)
新堀	けい	(宇崎九四)
松兼	宏乗	(鳥並九三)
香取	コト	(下淵九二)
桜井	なを	(下淵九二)

浅野 せつ (南 九二)
永作 ちい (古宿九一)
藤崎 みな (天掛九一)
茂木 トミ (玄通九一)
千葉 たき (宇崎九〇)
谷口 タツ (板峰九〇)
坂本 ちよ (杉平九〇)
根本 きた (行方九〇)
なを (富田九〇)

〔善意〕

麻生小学校へ麻生の高橋正雄さんはテレビ二台、同僚塚芳子、中村美明さんは給食用フキン、同僚枝五郎さんは教育備品費として二万円、トロフィー六基、楯一基を贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

麻生の深沢熊次郎さんは常盤陸会へ国旗および掲揚資材一式。

天掛の宮久保利己三さんは大和一小へひごい一匹、まごい一匹。

根小屋の長生会は太田小学校へぞうきん二百五十枚。

麻生の宮崎とよさんは老人ホーム水郷荘へ現金二千八百八十三円。

麻生小学校六年一組高野研二君外三十五名は不幸な人へ現金二千四百十円

